



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	地域との連携によるインターンシップの取り組み：北海道富良野緑峰高等学校園芸科学科・電気システム科編
Author(s)	田附, 豊
Citation	公教育システム研究, 2, 187-224
Issue Date	2002-12
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/22067
Type	departmental bulletin paper
File Information	2_P187-224.pdf



地域との連携による インターンシップの取り組み

北海道富良野緑峰高等学校

園芸科学科・電気システム科 編



田附 豊

1 はじめに

このたびの文部省における学習指導要領の改訂により、職業教育を主とする専門高校（学科）においては「生徒が産業の現場などにおいて就業体験を行い、もって職業や産業の職場などを知り、将来の自分の生き方や進路を考えさせる」ことを目的として、在学中のインターンシップ（職場体験学習）をすべての生徒に行う制度として位置付けられました。しかし、北海道の先進的な専門高校では「現場実習」として、専門学科で学ぶ生徒がその専門的な知識の理解を図るため、あるいは勤労観・職業観を修得する、進路意識の醸成のためすでに実施していました。

本校は平成11年に富良野市の生徒減による高校再編計画により、富良野工業高校を母体として、富良野高校商業科、富良野農業高校を集合させた、三大学科集合型専門高校として設立されました。農業系には園芸科学科1間口、工業系には電気科から学科転換した電気システム科1間口、商業系には「流通経済科」と「情報ビジネス科」をそれぞれ1間口が設置されました。この間集合型の職業専門高校として、地域の期待に応えるためどのような生徒を育成するか検討してきました。

このような動きの中で本校は今年度、富良野商工会議所と傘下の企業、富良野市役所、富良野地方の企業の協力により、「インターンシップ」を「園芸科学科3年生」「電気システム科3年生」「流通経済科2年生」で実施することができました。

本報告書は「インターンシップ」を実施したことで、生徒の反応や地域産業界の評価などをまとめ、次年度以降の「インターンシップ」実施の改善資料とともに、本校で学ぶ生徒が、地域の協力と信頼のもと、地域の産業の活性化の担い手として活躍できる人材の育成に貢献できるよう努力することで、「職業教育の活性化」に結びつけることができたと考えています。

2 市勢と学校の実態

本校のある富良野市は北海道の中心に位置し、十勝岳連邦、芦別連山の秀峰に挟まれた自然豊かな富良野盆地にあります。富良野市（人工約2万5千人）を中心に、北に上富良野・中富良野町、南に南富良野町・占冠町と農業が主体のため、比較的人口の変動の少ない地域で、生徒数も大きな変動はありません。しかし、近年低迷する経済状況の余波を受けて農業経営の困難から農業離れが進みつつあり、楽観を許さない状況です。富良野市には普通高校（5間口）と本校の2校、周辺には上富良野高校（2間口）、町立南富良野高校（1間口）があります。

本校は入学者の状況が比較的安定していて、非行で指導される生徒数も少なく、校内での「おはよう」「こんにちわ」の元気な挨拶ができて明るい雰囲気があります。進路も地方の町としては大変厳しい状況下でも健闘しているなど、比較的落ち着いた状況にあります。

本校設立の趣旨は北海道はもとより富良野地方の産業を支える専門の知識・技術を体得した人材を育成するものです。また、農・工・商の三大学科が互いに助け合い、鍛え合い、個々の力を高めるよう地域産業から期待されてスタートしています。

地域に期待されて設立した本校では、地域に根ざした有為な職業人を育成するために地域との連携を図っています。園芸科学科では富良野の農業との関わりから、春には草花や野菜の苗の市民販売、夏の学校祭にはハウスや農園で獲れたメロンやトマトなどの果実の販売を行っています。商業系の流通経済科では本校園芸科学科で収穫した野菜やメロンなどの果実を市民に販売実習し、市民と交流しています。情報ビジネス科では地域の情報ネットワークなどと協力して商業ビジネスの交流を行っています。工業系の電気システム科については社会人対象の電気工事士の講習を行って地域との結びつきを広げる努力をしています。このようにそれぞれの学科が有機的に横の連携を保ちながら、地域との交流を深めつつ設立の趣旨を生かすべく努力しているところです。

（1）在籍数および教職員数

	園芸科学科	電気システム科	流通経済科	情報ビジネス科	合計
1学年	40	40	40	40	160
2学年	40	40	38	40	158
3学年	38	32	40	40	150
合計	118	112	118	120	468

区分	校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	事務職員	公務補及び事務生	農務従事員	時間講師	合計
全日制	1	1	36	1	9	4	3	1	1	57

(2) 生徒の出身中学校

出身中学校	富良野市						中富良野	上富良野				南富良野			占冠		その他	計
	西	東	樹海	麓郷	布部	布礼別		上富良野	東中	下金山	金山	落合	幾寅	占冠	トマム			
1学年	32	31	14	2	5	2	23	24	5	2	1	1	3	3	0	1	160	
2学年	21	40	8	6	9	4	18	28	1	1	1	2	5	2	3	2	158	
3学年	26	32	14	3	4	0	30	17	6	1	0	0	7	1	0	0	150	
合計	79	103	36	11	18	6	71	69	12	4	0	3	15	6	3	3	468	

(3) 卒業生の進路

		進学			就職													小計	未定	合計			
		大	短大	専門学校	農業特別専攻科	農	林	漁	鉱	建設	製造	電気ガス熱供給水道業	運輸・通信業	卸売り小売業飲食店	金融・保険業	不動産業	サービス業				公務員	分類不能の産業	
12年度	機械科	道内	0	4	6	1	1	0	0	0	1	4	0	1	7	0	0	2	2	0	29	2	31
	道外	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	電気科	道内	2	0	4	0	1	0	0	0	1	6	0	0	1	0	0	4	3	0	22	2	24
	道外	0	0	2	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6	0	6
合計			2	4	13	1	2	0	0	3	13	0	1	8	0	0	7	5	0	59	4	63	
13年度	園芸科学科	道内	2	3	5	3	1	0	0	0	6	0	1	1	0	0	8	1	0	31	5	36	
	道外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	電気システム科	道内	4	1	9	0	0	0	0	4	3	0	1	2	0	0	3	7	0	34	2	36	
	道外	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	
	流通経済科	道内	0	2	9	0	0	0	0	0	1	0	1	4	0	0	7	2	0	26	3	29	
	道外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1
	情報ビジネス科	道内	3	1	14	0	0	0	0	1	5	0	0	3	0	9	1	0	37	0	37	0	37
	道外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1
合計			10	7	37	3	1	0	0	6	17	0	3	10	0	29	11	0	134	10	144		

3 インターンシップを取り組むまでの経過

(1) インターンシップの意義・教育効果

① 実際的な知識や技術を学ぶことができる

インターンシップは、職業現場で実際に用いられている知識や技術・技能を学ぶ貴重な機会です。学校では施設・設備や教育内容の改善などが進められていますが、今日のように技術革新がつかないスピードで進んでいる時代にあつては、職業現場における施設・設備、技術・技能などの変化に十分に対応することに難しいのが実態です。

インターンシップは、このような学校教育を補完したり、職業現場に於ける最先端の技術やシステムについて学ぶことができます。

② 学校の学習と職業との関係についての理解を進めることができる

インターンシップを通して、学校での学習が職業現場でどのように用いられ、どのように役立つのか、実際に仕事をしていく上で何が大切なのかを知ることができます。それは同時に、現在の学習と将来の職業生活との関係を理解し、目的をもって学習に取り組む上での重要な契機となります。

いま、労働というものが家庭生活の中で、疎遠になっています。生徒をみていますと、なぜ学校で学ばなければならないのか、何のために働くのかといったことが、見えにくくなってはいないでしょうか。

インターンシップを行うことで、学ぶこと働くことの意義や目的を発見することを期待しています。

③ 自己理解を深め、職業の実像をつかみながら、確かな職業観を身につけることができる。

生徒が自分の個性や適性を把握し、自己理解を深めていく上で、様々な体験・経験を積み重ねることは、極めて重要な意味を持っています。そうした中で、自分が役立つ存在であることを知ることができたり、自己の新たな可能性を見いだしたりする場合もあるでしょう。また、それぞれの実際の職業は単に仕事の内容をならべて教えられただけでは、生徒に理解はされないでしょう。実際に仕事を経験し、働くことの厳しさや辛さ、喜びなどを身をもって体験することを通して、生徒がつかんでいくものであると思います。

④ コミュニケーション能力の向上を図ることができる

インターンシップは、職業現場における仕事上の体験だけでなく、そこで働いている多くの職業人とのふれあいや交流を通して、異世代とのコミュニケーション能力を高めるとともに、社会人としての基本的マナーや言葉遣いなどを身につけることができる場所でもあります。異世代との交流が減少し、あいさつができない、言葉遣いを知らない、コミュニケーションがうまくとれないといった若い人が増えているといわれています。そのことで、職場での円滑な人間関係を築いていく妨げとなって、高校卒業時に就職した人の内、その3年間に離職する人が50%近くに達するという高い離職率の一因となっているともいわれています。

インターンシップでコミュニケーション能力や社会的常識を、身につけることができるようになってほしいと考えています。

⑤ 地域の理解を深めていくことができる

地域の産業やそこに働く人々のすばらしさや良さを発見する場合も多い。そのことが、地元に対する愛着や誇りを持つことにつながるとともに、自分自身に対する自信や可能性の発見となっていくと思います。

以上のような教育的な効果が期待できるが、特に本校の教育現場では次のような現象が見られるため、この点についてもインターンシップで打開できないか検討しました。

《園芸科学科》

- 専門学科の知識や技術を深化させるとともに、関連産業に関しても幅広い知識や技術を身につけてもらう。
- 入学の動機が必ずしも農業関係の仕事をするために入学していない生徒もいるので、そのような生徒のため、他産業の知識や技術について学んでもらう。
- 社会人としてのマナーを学んでもらう。なにより働くことの意義を理解して学校で学ぶ目的を明確にしてもらう。

《電気システム科》

- 富良野は農業が基幹産業であり、農業をする親や兄弟の姿を見て育っているため農業に対するイメージ化はできる。しかし、工業としての企業数も少ない中で、工業で働く親の背中を見て育っていないため、せつかく工業の電気システム科に学んでも将来

の展望ができなく、学年進行と共に電気離れが進む生徒を少なくしたい。(高校を選択するときの問題や高校入学後の学科の指導にも原因があるのかもしれない)。

- 進路でも工業を嫌い他産業に進む生徒が多いため、工業についての理解を深めたい。
- 学校の授業で勉強することの内容が、企業や社会でどのように使われているのかを知る良い機会にしたい。
- せっかく就職しても入社1日目で企業を辞める生徒も出てきていることから、社会に出て働くことがどんなことなのか、労働とはどんなことなのかを知ってもらい、進路選択のミスマッチを防ぐようにしたい。

《流通経済科》

- 2年生で学ぶ「マーケティング」の授業科目の内容が、まさに「インターンシップ」の内容とマッチするため、商業人・社会人として必要な意識・マナーを育成したい。

(2) 2年間の準備

本校としても2年前に3大学科でインターンシップの導入について話題に上り、平成12年3月にすでに実施している専門高校の学校視察に行き資料収集いたしました。《園芸科学科》では幌加内農業高校、〇〇高校、〇〇高校。《電気システム科》は北見工業高校、美唄工業高校、芦別総合技術高校。《流通経済科》は札幌東商業高校に行き貴重な資料やアドバイスをいただきました。さらに平成13年12月に北海道大学大学院教育学研究科教育行政学研究室の横井 敏郎先生、同じく北海道大学大学院教育学研究科 佐藤 浩章先生(現在愛媛大学)のもとで、インターンシップについての研究成果をご指導いただきました。北海道大学のご指導でインターンシップの意義、問題点、全国的な状況、アメリカでのインターンシップなど実施についての重要なポイントを、指導していただいた事は大きな勇気づけになりました。

このような準備をしながら平成14年度の実施に向け、3大学科の意思統一に動き出しました。

(3) 富良野商工会議所の協力

地元富良野商工会議所は平成13年6月と9月の2回にわたり本校を訪問され、地域の産業に有為な人材を富良野地域として育て、地域企業の活性化を図るべく、インターンシップ導入の援助をしたいと申し出てくださいました。このような地域商工会議所の力強い協力の下、平成14年4月に校長・教頭・3学科長が、インターンシップを受入れてくれる企業の依頼を行い、インターンシップの実施に向けてスタートしました。

4 インターンシップの実施

(1) 〈インターンシップ実施の経過日程〉

- 4月16日・・・3学科長(園芸科学、電気システム、流通経済)による実施についての意思統一の会議
- 4月19日・・・富良野商工会議所に対してインターンシップの説明と受入企業の要請をする
参加者 富良野商工会議所側 佐々木専務理事、浅利事務局長、池田記帳指導職員。
高校側 園芸科学科、電気システム科、流通経済科の3学科長。
- 4月23日～25日・・・高校側で生徒の希望先企業(職種別)の調査。
- 4月30日・・・生徒の希望先調査結果を持参して打ち合わせ(富良野商工会議所会議室)
参加者 富良野商工会議所側 佐々木専務理事、浅利事務局長、池田記帳指導職員
高校側 園芸科学科、電気システム科、流通経済科の3学科長
- 5月7日～20日・・・富良野商工会議所が受入企業の要請作業を実施(第1次作業)
- 5月20日・・・受入企業決定(第1次) 園芸科学科 10社18名、電気システム科 14社16名、流通経済科 11社34名が決定する。
- 5月21日～5月30日・・・受入先企業未定者の企業開拓(第2次作業)
富良野市外および富良野商工会議所傘下以外の企業や富良野市役所関連の職場に要請
- 5月31日・・・ハローワーク旭川に賠償保険・傷害保険加入者名簿発送(保険金補助の要請)

- 5月29日～6月4日・・・受入先企業に事前打ち合わせのため訪問行動（依頼文書・事前打ち合わせ文書持参）・・・各学科教員が分担して企業訪問して実施
- 6月5日～7日・・・流通経済科2年生のみ34名インターンシップ開始
- 6月5日・・・園芸科学・電気システム科事前指導
- 6月11日・・・最終指導
- 6月12日～14日 園芸科学科38名、電気システム科32名インターンシップ実施、各企業巡回
- 6月16日・・・商工会議所、受け入れ先企業宛て礼状提出
- 6月17日・・・お世話になった企業の担当者宛礼状書き、感想文、アンケート調査実施

（2）準備段階

① 指導計画の検討

- ① 期間はインターンシップのねらいと生徒の疲労などを考慮し連続3日間とする。
- ② 実施時期を流通経済科は6月5日（水）～7日（金）、園芸科学科・電気システム科は6月12日（水）～14日（金）としました。
- ③ 就業体験時間帯は基本的には8時間労働時間としながら企業の勤務時間に合わせることにしました。
- ④ 参加生徒は園芸科学科・電気システム科は3年生、流通経済科は2年生としました。
- ⑤ 教育課程の位置づけ
インターンシップは3日間連続して行う教育活動のため、当然授業として位置づけなければなりません。その結果、流通経済科は「マーケティング」の授業で、園芸科学科・電気システム科は「課題研究」として位置づけました。

② 就業体験先の選定作業および受入企業開拓のための企業訪問

園芸科学科の生徒は進路希望が幅が広いことから、生徒の希望を尊重しました。電気システム科では富良野市周辺地域に工業関係の企業が少ないこと。生徒の進路希望が必ずしも電気や工業関係ではなく、幅の広い進路希望であることから、生徒への希望を尊重しました。流通経済科では授業「マーケティング」の内容に適合する企業ということから、ホテル・スーパーマーケットに絞りました。

- ① 富良野商工会議所から企業リストをいただく
先にも述べましたように富良野市商工会議所から傘下の企業の職種リストと企業リストをいただき、これを参考に生徒から希望調査をいたしました。
- ② 富良野市商工会議所では学校側の希望調査結果より、生徒の希望の職種から受け入れてくれる企業を探してくれました。
- ③ 富良野商工会議所で探していただきましたが、それでも生徒の希望を満たしていなかったため、各学科で富良野市周辺の町も含めて受入企業の開拓をし、電気システムでは7企業の開拓をいたしました。

③ 事業所との事前打ち合わせ

受入企業との事前打ち合わせをそれぞれの教員が分担して企業を訪問して作業内容や就業規則、始業時間、注意事項等々打ち合わせをしました。教員が事前打ち合わせで企業を訪問することで、地域の企業の内容や規模、事業内容を知ることになり、教師の方が大いなる学習になりました。中には目を見張るような先端技術を駆使している企業もあれば、地域の特産物を家族で細々と製造しており、しかし地域になくはならない郷愁を誘う製造工場でもあったりしてたいへん勉強になるものでした。

また、地域の電気工事屋さんで、たたき上げの社長さんの素晴らしくきれいでアイデア溢れる電気工事が建築屋さんを始め関連企業から高く評価されていました。この社長さんとは2時間も話し込んでしまうなど、思わぬ収穫のある事前打ち合わせもありました。

④ 事前指導と保護者への働きかけ

- ① 「インターンシップの手引き」を作成することで、事前にインターンシップの目的や心構え、実習先の企業などについての事前学習を行わせ、実習内容の理解を図りました。
- ② 安全管理の大切さや事故防止などの安全指導を行いました。

- ③ 保護者に対してもインターシップの目的、内容を理解してもらい、安全を期するため3種類の保険に入ること、2つの保険（賠償保険、傷害保険）についてはハローワークから補助が出ることも文書で紹介し、保護者の理解を得ました。

(3) 実施段階

① 参加生徒数

学 科 名	園芸科学	電気システム	流通経済	合 計
実 施 期 間	6/12～6/14	6/12～6/14	6/5～6/7	
参加学年・生徒数	3学年 38	3学年 32	2学年 38	108

② インターンシップ先企業数（各学科毎）

業種別	ホテル	ス・パ・	商店	菓子製造	食品製造	電気工事	板金	自動車整備	情報	電子製造	看板	市役所	介保所	アニマルクリニック	運送	板金	合計
園芸	4	3	4	2	1						1		2	1			18
電気	1	1	4	1		4	1	4	1	1		1	1		1	1	22
流通	7	4															11
合計	12	8	8	3	1	4	1	4	1	1	1	1	3	1	1	1	51

③ インターンシップの具体的な展開と実習の様子

- ① 出勤について生徒は企業の始業時間に遅れないように、ずいぶんと緊張して出勤していたようです。第1日目には1名の生徒が時間に間に合わずトラブルがありました。が、学校の連絡ミスで、就業場所が異なっていたのに連絡が不徹底のため起きたトラブルでした。その後は問題はありませんでした。
- ② 「交通費」「昼食」は自前です。実施前には不満を漏らす生徒がいましたが、問題なく推移しました。
- ③ インターンシップでは生徒は学ぶ立場から「無給」としました。また、インターンシップは採用選考の資料としないなど、進路の青田刈りに至るようなことを避けるよう事前に企業の方と確認しました。
- ④ 実施中はきちんと出席しているだろうか、しっかり働いているだろうか、怪我をしていないかと気が気ではありませんでした。期間中電気システム科では3日間で必ず1回以上は就業先に巡回指導を実施しました。特に担任はすべての就業先に行きました。本校として初めての事業であり、企業側も受け入れるのは初めてであるので、お互いの情報交換の意味で重要視しました。何回か回を重ねることで、企業側の迷惑（巡回するとその都度対応しなければならず）にならないよう配慮する必要があります。今回は企業の方に毎日来る必要があるかどうか率直に聞いたところもありました。できるだけ多くの教員が巡回をし、学年団の先生にも巡回できるよう計画すべきでありました。
- ⑤ 巡回中は多くの生徒が真剣に指導者の言うことを聞いて実習していました。普段授業では見られない顔もそこにもありました。また、職場の人から親切にされて本当に、にこやかに実習している生徒もいて企業の方々のご配慮に頭が下がる思いでした。
- ⑥ 1日の勤務が終わると「インターシップの手引き」に入っている「日誌」に反省や感想を書いて、指導者の人からコメントをもらい実習を終わりました。
- ⑦ 各企業には生徒に、企業で実際に行っている作業やその準備、清掃などを指導していただければよいと事前に打ち合わせていましたが、中には実習計画を作成していたが毎日毎日の作業が計画的に実施されているところもあり、教員も大いに勉強になりました。

した。

- ⑧ インターンシップ最終日には生徒に実際に物を作らせたり、作業をさせていただき生徒もずいぶんと自慢気でした。また、実習が終了した後、「そば打ち」の講習と美味しいそばを食べさせて頂いたり、社員の方に食事をごちそうになったり、随分と面倒を見ていただきました。実際に地域の企業の人達とインターンシップを通して知り合いになり、コミュニケーションを深めることができ、生徒達が学校では学べない地域の産業とそこに働く人々の素晴らしさを発見できたのではないかと思います。

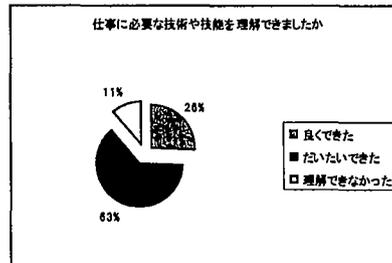
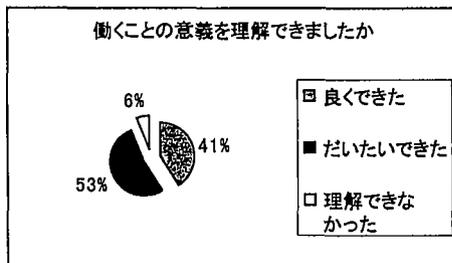
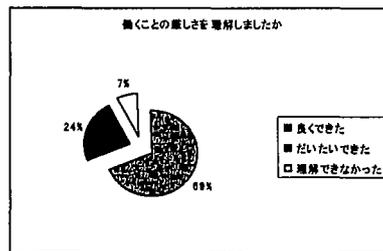
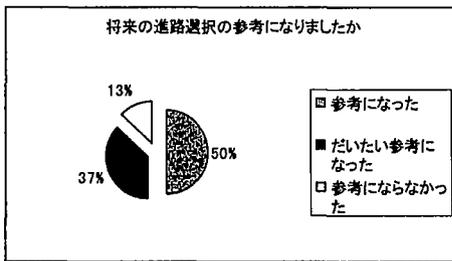
④ インターンシップの報告書とまとめ

インターンシップ終了後、生徒にはすぐに日誌の整理をし、感想（3日間のみ）をワープロで打たせてまとめさせました。また、企業の指導者の方々に礼状を出す指導もしました。今の生徒は（大人でもそうですが）手紙を書く機会が少ないため、このような機会に手紙を出す練習が必要だと感じました。実際に書かせると手紙の文章や封筒の宛名書きの書式がわからず随分とまどっていました。

⑤ インターンシップのアンケート調査結果より

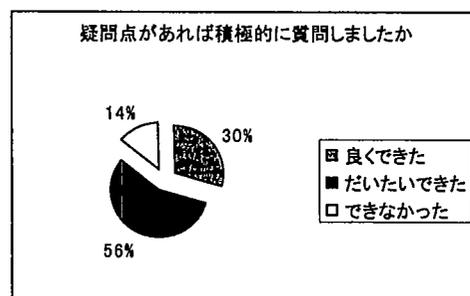
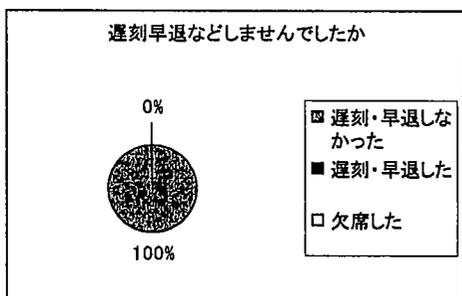
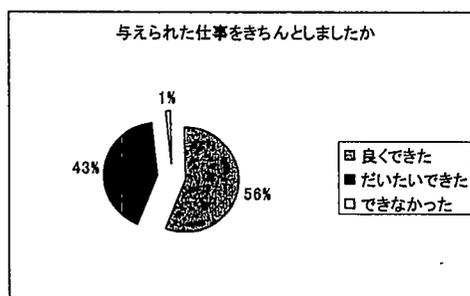
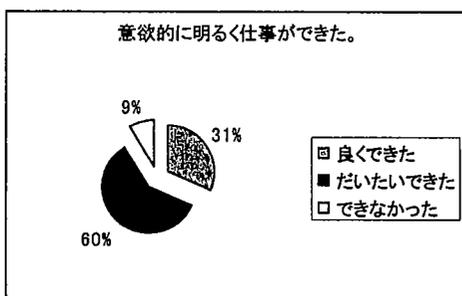
インターンシップについてアンケート調査を実施しました。実施前は色々と言っていた生徒達でしたが、実施後は多くの生徒が生き生きとした顔で帰ってきて、体験したことを語ってくれました。そんなことからどんな結果が出るのか注目していました。

① 設問 I の「インターネットの意義や目的」から



- ・今回の実習から働く職場とはどんなところなのか、作業内容などもほぼ理解できたようです。
- ・将来の進路選択の参考になったともいえると思います。
- ・「働くことの厳しさ」を理解したという生徒が大多数であったことは、社会に出て就職するときの心構えができるのではないだろうか。
- ・働くことの意義もほぼ理解できたようです。
- ・電気システム科の実習は電気工事、機械加工作業など専門的な分野が多く、仕事に必要な技術や技能の理解が必ずしもできていない。実習期間が3日間と短く、実際に作業することが少なかったことによるものである。しかし、園芸・電気でも専門以外の職種の実習に就いたところは、ほぼ理解できたようです。自分でも仕事ができることを発見してもらえれば進路の自信になるのではないだろうか。

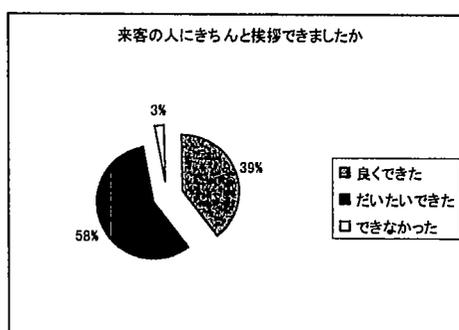
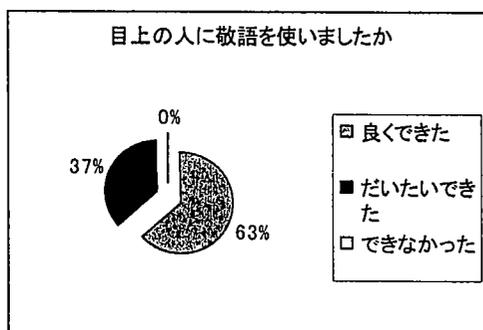
② 設問Ⅱの「参加する態度」から



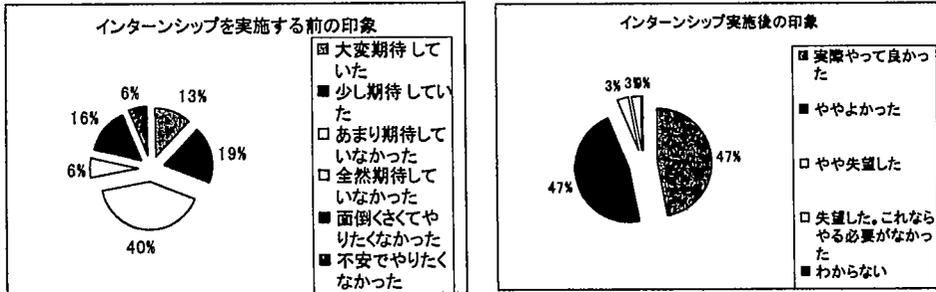
- ・遅刻・早退などの勤務態度はよかった。
- ・総体的に生徒たちはしっかり指導者の指示に従って実習に参加していたようです。
- ・「意欲的に明るく仕事ことができましたか？」については、良くできなかったようです。初めての現場での就業体験で緊張していたためではないでしょうか。
- ・「疑問点に対する積極的な質問」もできなかったのは、事前の企業の仕事内容に対する事前研修が不十分なことなど、事前の準備不足があり今後の課題となると思います。

③ 設問Ⅲの「礼儀などのマナーについて」

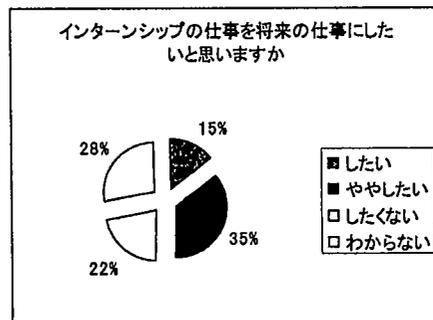
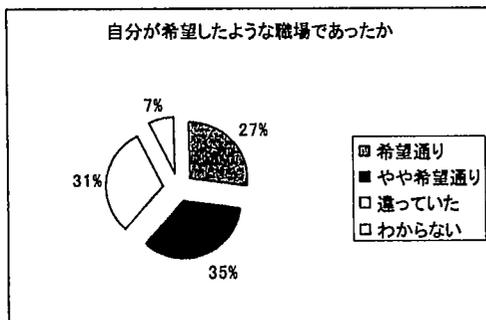
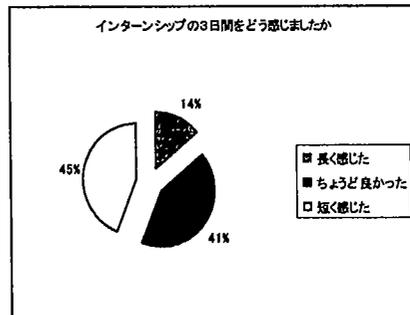
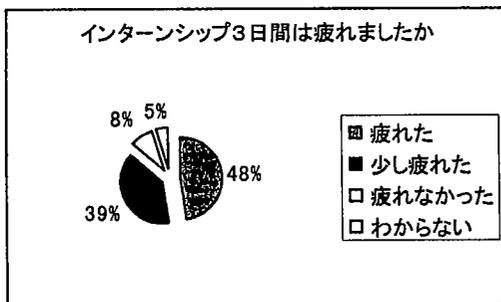
- ・職場の人に対する挨拶や敬語はできたようですが、お客さんに対する挨拶が不十分であったようです。



④ 設問IV「インターンシップ実施前と実施後の印象」について



- ・実施前には「期待してなかった、面倒くさい等のやりたくない」が68%でしたが、実施後では「やってよかった、ややよかった」が94%と生徒の評価はよくなったといえると思います。
- ・今回選んだ職場が将来の自分の希望する仕事との関連が必ずしも強くないことがわかりました。これは自分で希望した企業もしくは職種ではあったが、事前の準備が十分でなかったため将来の仕事に結びつかなかったのではないかと。また、このようなことがわかっただけでもインターンシップを実施したことで理解できたともいえるのではないのでしょうか。
- ・「自分の希望した職場であったか？」についても、半数以上の生徒が希望通りであったと答えています。その反面やや違っていったという生徒も31%いたというのは、事前の準備が不十分で、企業の情報も不足していたと思いますが、これもインターンシップを体験していればこそその結果でもあると思えます。
- ・「仕事がつい」「疲れた」との生徒が、約半数いたというのは、実際企業で働いている人の仕事の大変さがわかってもらえたのではなかったのでしょうか。
- ・「インターンシップの期間」についても、今回の3日間がほぼ妥当な期間なのか。増やしても4日間がいいところではないのでしょうか。



5 インターンシップの評価と今後の課題

(1) 評価

- ① 挨拶、礼儀や時間を守ることなど、基本的な生活習慣やコミュニケーションの大切さを改めて知る機会となりました。
- ② 社会や現場、そして仕事の厳しさを自ら実感して、勤労意識や社会人としての心構えを考えることが出来ました。
- ③ 地域企業が地域社会へどのように貢献しているかを現場実習を通して間近で体験させたことで理解できました。
- ④ 生徒の就業体験の機会が教員にとっても地域企業の実態を理解する絶好の機会となりました。
- ⑤ 地元商工会議所の全面的協力を受けて実施することができたことが、インターンシップの目的を達する心強い助けとなった。また、今後のインターンシップの充実にも重要な力になると感じました。
- ⑥ 開校四年目の本校にとって、地域企業の学校理解、生徒理解を深める良い機会となりました。
- ⑦ 多くの生徒が、今回の就業体験を通して将来の生き方や進路を考える上で、有意義に感じることができました。
- ⑧ 今回実習生の傷害事故も企業側への損害事故もなく、特に企業側の細やかな配慮に感謝いたします。

(2) 課題

- ① 企業からも指摘がありましたが、スムーズに実習ができるように、また、目的意識をさらに徹底させるためにより十分な事前指導を行う必要があります。
- ② 受け入れ先と学校の間で、指導内容や相互理解についての打ち合わせを更にする必要があります。
- ③ 実施時期や実習期間などについては、協力企業と連携を取りながら実習がより効果的なものとなるように検討を続ける必要があります。
- ④ 企業や学校での評価、生徒の自己評価のあり方について継続的に検討する必要を感じました。
- ⑤ 生徒の事故（傷病）、企業に対する損害事故などが無く、正直安堵している。しかし、事故が起きないように企業側と学校側の連携が今後さらに必要であります。また、事故が起きたときに双方にトラブルが生じないように、より良い方法を研究する必要があります。
- ⑥ 今後地域の中で、小・中・高校がインターンシップを始めると、受入企業の負担が大きくなり、実施に障害が出てくるので、その調整をする機関を地域の中で作る必要があります。
- ⑦ 今後地域の多くの企業がインターンシップについて理解をしていただくような啓蒙や努力をする必要があります。
- ⑧ インターンシップ実施中の巡回指導に専門学科以外の普通教科の教師にも加わってもらい、インターンシップについて理解を深めてもらうことが必要です。

6 おわりに

本校で初めてのインターンシップを終え、生徒、教員ともに良い成果を得たと感じています。今後は、この成果と反省点を踏まえ、関係機関との打ち合わせや調整も含めて一層の改善を図りながら進めていく必要があります。

地域の産業を担う学校としての取り組みやPRを、このような実習を通して地域産業界への学校理解、生徒理解が進めば、インターンシップ受け入れの気運が高まり、地域教育とともに本校の専門教育の充実発展につながるものと確信しています。また、このことが北海道の専門教育の活性化の一翼になれば幸いです。

このような良い機会を与えていただいた富良野商工会議所、富良野市役所、富良野地域の企業の関係者の皆様に深くお礼申し上げます。

インターンシップを終えて

生徒の感想文より

(一部)

1. 実習企業先
2. 実習生 学科 氏名
3. 実習の目標

実習先

ファーム富田（有）

園芸科学科 3年 A

目標 挨拶をきちんとする。

少しでも人に慣れるよう努力する。

私はバイトをしたことがなかったので、今回のインターンシップが働くという初めての経験になりました。働くということは、やはり大変だと思ったけれど、3日間はとても充実していたように感じます。

私は人見知りが激しく、人と話すのも苦手なので、体験する内容が接客だと聞いたときは、はっきり言ってショックでした。自分には接客はむいていない、絶対に無理だと不安でいっぱいでしたが、何とか3日間を乗り切ることができて良かったと思います。私は今も、大きな声で挨拶したり、人と関わっていくのは苦手だけれど、まえと比べると少しはましになったと思います。この3日間、接客の他にも色々なことを経験し、とても勉強になりました。この3日間で自分の欠点がわかり、目標を見つけることもできたので、これから欠点を克服しつつ、頑張っていこうと思います。

ファーム富田の皆さんは、本当に良い人ばかりでした。3日間お世話して下さった皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。ラベンダーは100種類以上あると教わったので、今度調べてみようと思います。

園芸科学科 3年 B

目標 挨拶を、大きな声で相手に

聞こえるようにはっきりとする。

今まではお客として行っていたお店に、店員として行き、実際に働くというのは少し不思議な感じがあったのですが、「裏ではこんな仕事もしているんだなあ」とか、「こう思ったけど、本当はこうだったんだ」と、想像とのギャップが見られました。

1日目の朝は「自分から挨拶しなくては」という気持ちと、「どういうタイミングで言えばいいのだろう」という気持ちで混乱していましたが、そんな私たちの様子に気づいたのか、皆さん先にしてくださいました。そして、1日目の目標はやっぱり「挨拶をきちんとする」という事になりました。

レジには商品名の書かれたボタンが数十個あり、横にはまた商品名の書かれたバーコードが数十枚貼ってあります。1日目は商品と名前を一致させるだけで一苦労でした。

2日目は、自分から挨拶するよう心掛け、商品と名前もだいたい一致させられるようになりました。接客態度もよくなったと担当の方にほめられました。

3日目は、ようやく仕事にも慣れてきたのインターンシップが終わってしまうのは惜しい気持ちになりました。休み時間に担当して下さった方々が「寂しくなるね」「また来てね」と言って下さり、とても嬉しく、そして寂しい気持ちになりました。アルバイトとしても、またグッズ販売してみたいなと思いました。

皆さんには3日間本当にお世話になりました。どうも有り難うございました。

実習先

新谷菓子店（有）

園芸科学科 3年 C

目標 3日間頑張る！！

私は、お菓子の新谷さんに行って来ました。新谷さんを訪問してからすぐに作業服に着替え、そして製造室に入りました。1日目は、ヨモギまんじゅうの袋詰めと粉取りをしました。ヨモギまんじゅうは、冷凍してあったので手の感覚がなくなるほど粉取りはすごく大変でした。1日目は朝から夕方まで立ちっぱなしだったので疲れました。2日目は、一緒に行った鷺見さんと入れ代わり、私はチーズケーキの方をやりました。ジャムが入っている絞り袋が思うように出来なくて何回も失敗したり、こぼしたりしました。でも慣れて来たからお兄さんに「うまくなったねえ」と言われてホッとしました。

この2日間、新谷さんに行って、お菓子作りは本当に大変なんだなあと思いました。まさか、こんなに忙しい事だとは思っていませんでした。でも自分にとって良い経験になったと思います。

目標 大きな声で挨拶をする！！

私は、2日間という短い間の実習でしたが、この2日間でいろんなことを学んだ気がします。1日目には、洋菓子の方をやらせていただき、そこでは、チーズケーキの型作りをしました。最初は、ぎこちなかったけど、なんとか、最後までやることができました。

2日目は、和菓子の方をやらせていただき、和菓子では箱を並べて、まんじゅうをビニールに包みそのまんじゅうを、並べてある箱の中に入れてたりする仕事をしました。同じ仕事の繰り返しだったので、すごく疲れました。それと、数の多さにもビックリしました。

今回、私の目標であった、「大きな声で挨拶する」は、あまり守れなかったのですが、これからの学校生活で、気をつけて挨拶していこうと思います。私は、これからの進路に向けて、このことをおおいに役立てていきたいと思っています。

実習先 社会福祉法人北海道社会事業協会
介護老人保健施設ふらの

園芸科学科 3年E

目標 積極的に行動する！！そしておじいちゃんおばあちゃんと仲良く！！楽しく

今回のインターンシップ3日間は、私にとってとてもいい体験になりました。インターンシップの前にも何回か老健に訪問した事があり、おじいちゃんおばあちゃんと話をしたり、車いすをおしたりしたことはありました。でも実際介護の仕事に携わったことは初めてだったので、一つ一つのことすべてが新鮮でした。

おばあちゃんと仲良くなれた Eさん

一番最初は、お年寄りと一緒にラジオ体操からはじまりました。右半分がマヒの方や、車いすの方もいましたがみんなそれぞれ、自分の体を動かせる範囲で元気に体操してました。その後シーツ交換をしました。シーツ交換などは介護士さんかと思っていなかったものでびっくりでした。1日目はそれで半日が過ぎ、とても大変でした。そして、トイレ介助やおむつ交換、陰部洗浄をしました。最初は「平気だろう」と思いながらもやっぱり少し抵抗がありました。後は、お茶くみをしたりおやつをだしたりもしました。みんな優しく、「おねいちゃんも一つ食べなさい」とか「ばあちゃんのお茶飲んでもいいよ」とか言ってくれて、心があたたかくなりました。



食事介助もしました。家庭科の授業で勉強したきざみ食など出て、その人それぞれの食事でした。薬もご飯に混ぜて飲んでいました。スプーンで口に入れ食べさせるのは結構タイミングとかもあって大変でした。あと大変だったことは、入浴後の爪切りでした。挑戦はしたものの、人の爪を切るのは初めてだったので怖かったです。フラダンスも踊りました。一緒に足踏みする方や手をたたいて参加する方もいて、みんな楽しそうでした。

少し緊張気味の F君

園芸科学科 3年F

目標 インターンシップの実践目標を達成する

インターンシップの反省は、自分の意志をはっきりと言葉で伝えることが、まったくといっていいほどできなかった。若者らしい明るさを持って行動し元気な声を出すことは、緊張したせいかできなかった。いつも姿勢を正しくし、笑顔で人と接することは、表情がかたくてできなかった。積極的に体験先の職員の方とコミュニケーションを持ち、意欲を持って仕事をするには、最後のほうはできたと思う。三日間の体験で自分にプラスになる項目を一つ以上見つけ、自分の進路実現に役立てていくことは、このインターンシップを通じてとても役に立ったと思う。この経験を生かして、自分のやりたいことを見つけ頑張っていきたいと思う。



実習先

プチフルールたけだ

園芸科学科 3年G

目標 自分の出せる力をだしきる！！

私は、インターンシップで、お菓子やさんに3日間勤めました。実習内容は、お菓子の袋詰めや、裏止め、箱詰めを中心に行いました。袋詰めは、機械でパックした後、パットに詰めていく作業を繰り返してやっていたので、眠くなってしまいました。テキパキと詰めていかないと、どんどんつまってきってしまうので集中してやっていました。裏どめは、パックした部分をテープで止めて、箱に詰めていきました。お菓子を作るのかと思っていたら、3日間とも箱詰めだったので、思っていたのとは違っていました。お菓子を作るのかと思っていたら、3日間とも箱詰めだったので、思っていたのとは違っていました。お菓子を作るのかと思っていたら、3日間とも箱詰めだったので、思っていたのとは違っていました。

インターンシップで、実際、職場体験をしてみて、一人の力だけではなくみんなの力で働くからこそ、仕事の良さを感じることが出来るのではないのでしょうか。学校では、ただ座っていれば終わるけれど、仕事ではやりとげたという達成感を感じることが出来、1日を充実して過ごせました。このことを気づくことが出来、将来のためにも良い経験となりました。

実習先の企業に向けて今の気持ちは、お店にきてくれるお客さんに喜んでいただけるよう、沢山の美味しいお菓子をもっと作ってってもらいたいです。私も、もしまた体験する機会があったら、一生懸命働いて、自分なりのオリジナルな食べ物を作りたいと思っています。企業先の方々には、本当にお世話になり優しくご指導していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

実習先

富良野アニマルクリニック

園芸科学科 3年H

目標 迷惑をかけずに、自分をアピールしてくる！！

犬のシャンプーをするHさん

立ちっぱなしの仕事が辛かったです。でも、犬や猫が元気になっていく姿を見ていて、とてもやりがいのある仕事だと思いました。職場のみなさんがとても優しく指導していただき、勉強になることが一杯ありました。将来についての話など、いろいろなことを教えていただきました。

仕事内容は、犬のシャンプーをしたり、犬の散歩をしていました。最終日に、猫の避妊手術の見学できて、とてもいい経験になりました。飼い主の方は、自分の子供の様に心配したり、可愛がっていました。なのに動物虐待などとても増えているなんて信じられません。私は、動物病院での経験から犬や猫などの動物が、今まで以上に大好きになりました。この経験を生かし自分の将来について、もう一度きちんと考えたいと思います。



実習先

富良野市麻町保育所

園芸科学科 3年I

目標 「保育士さんを見てまねる・観察力を高める」

たくさんの子供達と過ごすことで、子供達から色々教わった気がする。みんな素直で、自分の意見をしっかり持っていて、一人一人考え方が違う。集団の中で生活しているので自分だけ特別という訳にはいかない。どこかで誰かが我慢しなきゃ行けない。

子供達は子供達なりに考え、行動しているのが見えて良く分かった。一緒に遊んだり、話しかけも大切だけど、時には見守ると言うことも大切だと知った。何もかも手伝っては、その子の為にならない事。分かっているけども手伝ってしまったり、どこまで手

伝っていいのか悩んだ。このお仕事は観察力が重要だと思う。いろんな角度から子供達を観察しながら一緒になって遊ぶ。先生方を見ていて、その仕事ぶりに感心するばかりだった。誉めてあげるときは沢山誉めてあげて、叱るときは何が悪かったのか理由を伝えてから叱る。お昼の時間、ある子が最後まで残っていたトマトを見て私に「トマト食べたなら先生喜ぶ？」と聞かれ私が「トマト食べてくれたら嬉しいな」って言うと大きな口を開けてトマトを一口で食べ、ニコニコしながら私の顔見て「食べたよ」って言ったのが嬉しかった。その後「先生嬉しい？」と聞かれた時、私は言葉では表せないくらい嬉しかった。

三日間たしかに疲れたけど、それでも子供達の前では自然と笑顔になれた。子供ってかわいいなって思ったし、子供を相手にするこの仕事に今まで以上に魅力を感じた三日間だった。

実習先

(有) デンキのさこ

電気システム科 3年J

目標 実際の作業の中で自分の能力をいかにさせるようにする。

平成14年6月12日(水)～平成14年6月14日(金)に『(有)デンキのさこ』にインターンシップとして就業体験に行きました。

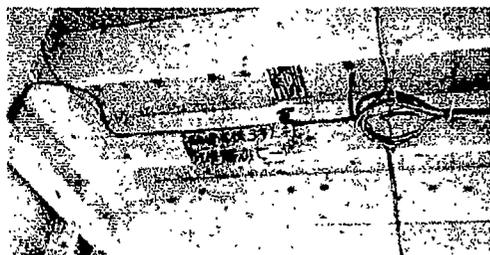
『(有)デンキのさこ』では、屋内の電気工事をやっており、1日目は新しく家を建てている現場で屋内の配線をするようになりました。屋内の配線は、結線をしないで必要な箇所に線を通していくという作業でしたが、ステッフルをハンマーで打って線を壁に止めたり、線をペンチで切断したりするということが全然まともに出来ませんでした。

2日目は、午前中は1日目とは違う場所での作業でしたが、屋内の作業ではなく、屋外での作業でした。屋外の作業は屋内へと入る電気の管を地面の中に埋めるという作業でしたが、石や砂利がたくさんあるところをスコップで掘ったり、掘っている途中に出てきたコンクリートに穴を開けて壊したりなど、普段したことがないことをしたので、とても時間がかかってしまいました。また、午後からは前日と同じ現場での作業をしました。2日目の作業は1日目と同じ配線だけの作業でしたが、1日目は1階の配線を、2日目は2階の配線をしました。

3日目は、今まで配線してきた線の結線をしました。ジョイントの部分は天井にあり、空中で作業をしなければなりません。作業は、電工ナイフで圧着する線の皮をむき、5・6本の線を圧着ペンチ、リングスリーブで圧着していくというだけの作業でしたが、空中での作業ということと、数が多かったため、電気工事士など学校でやってきたのとは違いとても大変でした。また、作業が終わった後にはそば打ちを体験させていただき、滅多に体験することがないことをできたので、とてもためになったと思います。



工事現場



J 君が行った電気工事

私の就業体験の目標は、『実際の作業の中で自分の能力をいかにさせるようにする。』でしたが、最初は出来る仕事が全然なく、今まで学習してきたことが全く役に立ちませんでした。作業をしていくうちに何とか出来るようになったので良かったと思います。

この就業体験を通して、実際に現場でさまざまな人と協力して作業することの大変さ、自分で仕事をこなしていくことの大変さを知ることができました。また、今まで学校で学習してきたことは、本当の基礎で、実際に作業をすると、自分の能力だけが頼りになることが

わかりました。

今回の体験を自分自身の力になるようにし、これからの実生活で役に立てていきたいと思っています。忙しい中、優しく丁寧に作業の一つ一つを教えていただき、本当にありがとうございました。

電気システム科 3年K

目標 インターンシップで働く大変さを学び学校の実習がどのように使われているかを知る。

6月12日から14日までの3日間、(有)デンキのさこでインターンシップを行って来ました。

そこでの仕事内容は、建築現場での配線、配管、電気工事の仕事が主でした。

インターンシップに行く前は、電気工事士といっものような仕事内容なのかもわからず、ちゃんと仕事出来るか不安でした。

インターンシップ1日目、仕事が始まる前社長に「勉強はやっておいた方がいいし、資格とかも自分にプラスになることはやっておいたほうがいい。」と。このようなことを現場の社長に言われると、先生よりずっと説得力がありました。

仕事時間になり、作業現場まで車で移動途中には社員の人にもいろいろ話を聞かせてもらいました。「いろんな仕事をしたんなら他の会社の方がいいけど、技術を磨くならこの会社で5年間社長の下で働けば、できない人でもちゃんと技術を身につけることができる」と言っていました。自分でもできるのかなと思った。

現場に着き、車から降りるとまず大きな声で挨拶をするように言われその通りできました。最初の作業は、配線を付けるための針金をとめるものをつくって配線をつけていきました。だけど、ここでの作業は脚立を使わないとできないので、高い所がダメな僕はかなり焦った。だけどやらなければならぬということで自然と克服することができました。

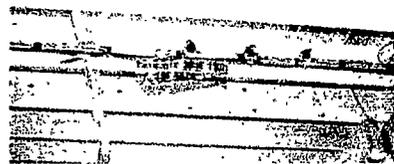
初日は初めてのことばかりで不安だったけど、会社の人達が優しく教えてくれたので、ここでの作業はやってみて楽しく時間が経つのを早く感じました。

2日目の午前中の作業は配管作業で昨日と違う現場で行きました。朝から穴を掘る作業でかなり疲れたけど、今までこういう作業をしてなかったということが良くわかった。ここで社長にはいろいろなテープの種類とその使い道や正しいテープの巻き方、鉄パイプを曲げる時どのぐらいの曲がりかベストかなど教わりました。

午後に入り1日目の続きの作業を行いました。2日目の作業は1階が終わったので、2階での作業を行い、1日目より少しはスムーズに作業できたと思うけど、作業よりも2階に上がる時と下がる時の方が難しかったです。電気の仕事は、技術だけでなく力もある程度ないとやっていけないということがわかりました。

3日目最終日は、今までやった配線にジョイントボックスを付ける作業をしました。学校の実習では机の上でもうまくできなかったのに、ここではさらに脚立の上で上を向いての作業だったのでとても難しかったです。だけど、1つ1つ細かく教えてくれたので何度かやっていくうちに出来るようになっていった。とても嬉しかったです。

今まで電気の授業はおもしろいって思ったことはないのに、この会社だからかもしれないけどおもしろいって思えた。作業を終え、最後に手打ちそばの体験をさせてもらいまし



K君が行った電気工事



そば打ちの指導を受ける K君

実習先

(株) 松井電気

電気システム科 3年L

目標 この体験が自己実現になるように頑張る

一日目は、簡単な作業でしたが、ブレーカーの取り付けやコンセントのプレートと取り付けなど、学校の実習ではないことなどをいろいろ出来て楽しかったです。そして現場ではいろいろな人が作業しているのその人たちとコミュニケーションを図るためにも挨拶はとても大切だということが理解できました。

二日目はとても忙しくて見ていただけの方が多かったですが、実際にしている屋内配線の様子があった。そして、接続の仕方やボックスの取り付け方などいろいろなことを忙しい中、担当者の方に教えてもらい、とてもよい勉強となりました。

三日目は二日目と違い、忙しくなかったので、配線などの作業は少なかった。自分で作業した所はボックスの取り付けやプレートの取り付け、そして倉庫整理及び清掃などでしたが、楽しく過ごせて良かったです。

このインターンシップで、実際に電気工事をしてみて、学校でしている実習や勉強は学校のマニュアル通りですが、現場に行ってみると学校出やったことが生かせると思ったのですが、実際はそうではありませんでした。なので現場と学校の違いについて理解できたと思います。三日間という短い期間でしたが、電気工事の仕事はどのように行われるかがよくわかって良かったです。最後になりますが、忙しいのにも関わらず親切にご指導いただきありがとうございました。この体験は今後の参考になるよう努力したいと思います。



作業中のL君

実習先

北光電子工業(株)

電気システム科 3年M

目標 インターンシップで仕事をするという事が、どんな事なのかを理解し、今後の進路に役立てる



作業について指導を受けるM君(中央)

6月12日～14日に、北光電子(株)へインターンシップに行ってきました。そこでは、第一製造部と第二製造部に分かれており、僕は第一製造部のカソードグループで研修をしました。

仕事は、カソードと言う部品の検査でした。カソードとはテレビや、パソコンのディスプレイの中に入っている電子銃という物の部品だということを教えてもらいました。そして、1ヶ月の注文数が、80万個ある事も教えてもらい、だいたい1個分の利益が6円くらいだと聞きました。カソードはすごく小さく目に見えない様な傷を顕微鏡で見つけていくのは、思っていたよりもすごく大変な作業でした。また、顕微鏡を延々と覗いていると、目が疲れて眠

たくなってしまい

ました。カソードを作る機械は、3つに分けられていて、それぞれが正確な動きをしながら次々と大量のカソードを作っていくのはすごいと思いました。

3日目の午後からは、工場内を案内してもらいました。第一製造部には、カソードグループの他に、ヒーターグループがありました。ヒーターグループでは、ヒーターを作る機械や試作品を見せてもらい、作る工程も教えてもらいました。ヒーターは、カソードの中に入る部品でカソード内で、熱を発生して電子を発生させる部品だと教えてもらいました。カソードの中に入る部品なので、カソードよりも小さく、ヒーターの線が見えない程でした。ヒーターグループの次に、第2製造部を案内してもらいました。第2製造部では、プローブカードという検査治具が作られていました。プローブカードとは、LSI(大規模集積回路)の半導体パターンが設計通りに、出来ているか検査する物だと教えてもらいました。プローブカードは、細かい部品を手作業で沢山の工程を経て作っていました。それだけに、人の数がすごく多かったです。また、見ていると細かい作業や、工程が多く大変そうでした。

今回、実習をしてみて仕事をするという事は、物は機械で作っていても人が作っていても大切なものは、いろんな人と良い関係を作り、保っていく事だと思いました。そして、見た目は簡単でも、実際にやってみると以外と難しい事が多く大変な事が沢山あると思いました。また、同じ事を延々と続けるのには、かなりの根気が必要だと思いました。

北光電子(株)の皆さんには、色々ご迷惑をおかけしたと思いますが、いい体験が出来たと思います。今回のインターンシップで得た事を、これから先の進路を考えるのに役立てて行き、将来自分のなりたい職業に就けるよう頑張りたいと思います。お忙しい中、インターンシップを親切に引き受けてくださり、本当にありがとうございました。

インターンシップで生徒を受け入れた

企業の評価

(一部)

(株) ニュー富良野ホテル

- 挨拶、会話、礼儀ともに今の若者になくしっかりしていたと思います。ただ、同じ作業を長時間させると仕事が雑になってくるようです。平均的にはしっかりした生徒さんだったと思います。

(株) ホームセンターサンエー

- 非常に素直で与えた仕事をきっちりこなし、積極的に仕事を探していたように思います。ただ若干緊張しているように見え、コミュニケーションが少しとれなかったような気がします。

(株) ワールドホーム富良野店

- まず相手の目を見て会話する、という基本を学んでいただきたい。コミュニケーションをとるのが苦手に見うけられましたが、社会に出て大事な「コミュニケーション」を自ら進んで、練習して身につけていただきたいです。
- 挨拶が明るく会話もはきはきしており、接していて相手に不快感を与えることがなく良かったです。会話の中で「友達が大事、大好き」という言葉がありましたが、いつまでもそのことを大切にしてください。

(株) エーコープふらのフォーレスト店

- 全体的にみんなまじめな生徒さんでした。礼儀・態度などほぼ良かった。

(株) ホテルナトゥールバルト

- 挨拶がきちんとできております。仕事内容は宿泊されて帰られたお客様の部屋の片づけを主にさせていただき、ハードな内容にもめげないで、指導を素直に聞き入れ、最後まで仕事をしてくれました。
- 元気がいまひとつ足りなかったように思いました。体験実習生の中で女子が一人だったのもあるかもしれませんが、でも仕事は指導に素直に従っており、最後まで一生懸命頑張ってくださいました。
- 明日からでも一緒に仕事のできる子だなと感じました。素直で気が付いて、ハードな仕事でも「なんでも言ってください。」と快く引きうけてくださいました。覚えの早い子と見うけられました。

(株) 新富良野プリンスホテル

- 明るい性格で、何事にも積極的に取り組んでいました。

(株) 丸善三番館富良野店

- 明るい実習生でしたが、もっと積極的に仕事などを見つけるようにしたら良いと思います。積極的にもっと質問などを、いろいろしてほしいです。
- もっと明るい良かったと思います。最終日にでも質問など多く用意してほしい。実習生に店の内容など少しでも理解できたらと思います。

(有) スポーツショップ三野

- 基本ができていて良かったと思います。常に明るく、素直さもありました。ただ、もう少し与えられた仕事に、責任感を持って欲しかったです。この3日間は、スポーツショップ三野の店員なので。社会へ出て必要なことは、自分の意見、YESかNOか、はっきり言える事だと思います。3年生のみなさんの就職活動、頑張ってください。

富良野市中央保育所

- 体験学習の中から子供が可愛いと感じられ、保育の仕事に就いてみたいという思い、それが今後の学習に生かされればと思っております。来年もこの事業を行う予定がありましたら、実習に入る前に現場見学や実習に入るときの心得などを話せる時間を作っていただければ、学生さんの不安も少しは解消されるのではないかと思います。

富良野アミューズメントアエル

- 職種希望がサービス関連企業であることからと思いますが、仕事に取り組む姿勢ができています。今回は接客業務が数少なく、残念に思われたかもしれませんが、下支え業務の大切さは感じていただけたものと思います。接客は顧客満足に際限の無いものであることを、本人に伝えております。「心」の通じ合いを大切にしたいと願っています。
- 自ら進んで実践し、リーダーシップを発揮できる頼もしい生徒です。とても良い印象を与えられる良い性格の持ち主です。物事を客観的に捉え、自分の中でしっかりと判断ができています。将来性のある頼もしい生徒で、先生方の教えがしっかりしていると感じられました。私達もあらためて参考になりました。
- スポーツを通じてと思いますが、体を動かす要領とコツを覚えています。普通の人では嫌がる仕事も、非常に真面目に取り組んでおりました。体を使いながらの仕事に対して、のみ込みが早いタイプです。ただ、慣れない場所、人との会話を自ら積極的に出せるようになれば最高と思います。
- なかなか自分を見せない、表さないタイプでしたが、最終日に明るさ、明朗さを見る事ができてうれしく思いました。他人の中で働くことは初めてだったのだと思います。まじめに働いてくれました。自己評価をとて低く記入していますが、もっと高い内容でしたので申し添えます。自らの評価、価値観を低く捉えることなく、長所を生かしながら頑張るよう伝えてあげてください。

デイジー食品工業(株) 富良野工場

- 緊張していたせいか、少し暗い印象を受けました。3日間という短い間では仕事の評価はしづらい面もありますが、指導に対しての態度は良い印象を受けました。あと本人の自己評価から「迷惑をかけなかったか」の点数が低いことから、少しマイナス指向かなという印象がありました。あと全体的に本人からやる気を感じられたのと、こちらの要求どおりの服装をきちんと守って良い印象があります。
- 指導に対して、受け答えをはっきりしていたのは良かったと思います。基本的なこと一番大切なことは「挨拶です。」と元気良く答えたことは印象がとても良かった。ハキハキとしていて、とても明るい印象でした。但し作業以外にこのような機会ですから、もっと積極的に「このような所を見たい。」等の要望が欲しかったと思います。

- 真面目な印象の半面、暗い印象が強かった。挨拶はきちんと出来ていて良かった。こちらから聞けば、モジモジせずハッキリと受け答えが出来るのですが、積極的に本人からの質問が無かった。3日間の実習では、本人の良さを見つけることは難しかった。作業に対する真面目な態度は、3人の中で1番良かったと思います。作業については、工夫してスピーディーにこなせる努力をしていました。

北 誠 荘

- 評価のとおり何も申し上げることはありません。実に良く働いてくれたと思います。私どもが普段、手のとどかない面についての仕事もしていただきました。将来の仕事はまだ決まっていない様子でした。
- 評価のとおり何も申し上げることはありません。実に良く働いてくれたと思います。私どもが普段、手のとどかない面についての仕事もしていただきました。将来の仕事には関係のない仕事ばかりで、物足らなかつたかに思います。
- 評価のとおり何も申し上げることはありません。実に良く働いてくれたと思います。私どもが普段、手のとどかない面についての仕事もしていただきました。将来の仕事について、はっきり「〇〇関係の仕事です。」と答えるところは立派です。

ファーム富田（有）

- アルバイトの経験があり、という所が最初から生かされていた。仕事を覚えようという前向きな姿勢が伺えた。観光客のいきよいに押され気味の雰囲気も、3日目には解消した。日々新たな目標を自己設定することができ、また努力できた。ただ表面的な言葉で終りやすい傾向もあり、実直な行動力、こつこつこなすことの大切さを身につけて欲しい。責任を課した場合、どういう風になるか、その点では不安を感じる。いずれにせよ、良く頑張った。
- アルバイト経験がない初の労働なので、とっつきは悪かった。「人見知りが激しい。」という自覚のとおり、あいさつ等ができなかった。3日間にわたりきびしく指導したが、満足な結果は得られなかった。ただし実直な仕事ぶりは感じられ、彼女の最大の難関を突破できれば、十分仕事ができる人になれると思う。3日間の中で少し上昇気流に乗りかけたので、このペースで上昇してほしいと願う。相当疲れた3日間だったに違いない。

新谷菓子店（有）

- 作業に取り組む姿勢は良かったのですが、もう少し明るさと、積極的に自分から物事を聞いて行動するという、二つの面が足りなかつたようにみえました。
- 作業の中では特に問題はないのですが、挨拶をする時でも、声が小さく返事をして聞こえない状態でした。作業中でも明るさがみられなかつたので、この三点を改善する必要があると思います。

社会福祉法人北海道社会事業協会

介護老人保健施設ふらの

- 希望の職種の体験ということもあり、積極的に関わっていた。実習態度も良かった。体験することの嬉しさが前面に出てしまい、スタッフの仕事への姿勢や大変な部分を感じ取れていたのか、やや不安を感じるが、对人的職種への素質はある人だと思われる。

インターンシップ

資 料

- 1 インターンシップ受入事業所一覧
- 2 受入企業へのアンケート調査
- 3 生徒アンケート調査結果
- 4 アンケート用紙
- 5 インターンシップ依頼文書（商工会議所宛）
- 6 インターンシップ依頼文書（各事業所宛）
- 7 体験場所希望調査用紙
- 8 体験場所参考資料（富良野市内企業・商店業種別一覧）
- 9 自己紹介カード
- 10 事前確認表（企業と学校との打ち合わせ用）
- 11 保護者宛インターンシップ実施の案内
- 12 インターンシップの手引き（生徒用）
- 13 インターンシップ指導評価簿（事業所用）
- 14 企業での実習日程表例

平成14年度 インターンシップ受入事業所一覧（3学科）

北海道富良野緑峰高等学校

No.	事業所	クラス	生徒人数	備考
1	(株) ニュー富良野ホテル	H 3	1名	
		E 3	1名	
		D 2	3名	
2	(株) ワールドホーム富良野店	H 3	2名	
		D 2	2名	
3	(株) エーコープふらのフォーレスト店	H 3	2名	
		E 3	1名	
		D 2	2名	
4	(株) ホテルナトゥールバルト	H 3	3名	
		D 2	3名	
5	(株) 新富良野プリンスホテル	H 3	1名	
		D 2	9名	
6	(株) 丸善三番館富良野店	H 3	2名	
		D 2	2名	
7	(株) ホームセンターサンエー	H 3	2名	
		D 2	2名	
8	(有) スポーツショップ三野 (幸町)	H 3	1名	
9	富良野市中央保育所	H 3	1名	
10	富良野ミュージアムホテル	H 3	4名	
11	デイズ食品工業 (株) 富良野工場	H 3	3名	
12	北誠荘	H 3	3名	
13	ファーム富田 (有)	H 3	2名	
14	新谷菓子店 (有)	H 3	2名	
15	介護老人保健施設ふらの	H 3	3名	
16	ルール (フライング)	H 3	1名	
17	宝屋時計店 (株)	H 3	1名	
18	(有) 高田看板	H 3	1名	
19	ブチナルたけだ	H 3	1名	
20	富良野アニマルクリニック	H 3	1名	
21	富良野市麻町保育所	H 3	1名	
22	(有) デンキのさこ	E 3	2名	
23	(株) 松井電気	E 3	1名	
24	北光電子工業 (株)	E 3	1名	
25	マツヤデンキ	E 3	2名	
26	ベスト電器富良野店	E 3	2名	
27	(株) ゆあさ	E 3	1名	
28	(有) 斉藤自動車修理工場	E 3	1名	
29	三共自興 (株) 整備	E 3	1名	
30	(有) 北都自動車整備工場	E 3	1名	
31	双葉車輛工業 (株)	E 3	1名	
32	(有) 上杉板金店	E 3	2名	
33	(株) 亀屋斉藤商店	E 3	3名	
34	西せんべい	E 3	2名	
35	富良野合同通運 (株)	E 3	1名	
36	(有) 三野スポーツ (国道沿)	E 3	2名	
37	特別養護老人ホーム 北の峰ハイツ	E 3	2名	
38	(株) 高崎電気	E 3	1名	
39	(株) 一戸電建	E 3	1名	
40	北海道電力 (株) 富良野営業所	E 3	1名	
41	富良野市役所水処理センター	E 3	2名	
42	菱栄商事 (りょうゆー)	D 2	2名	
43	松竹荘 (ベルヒルズ)	D 2	5名	
44	エーデルヴェルメ	D 2	3名	
45	グレースホテルクロダ	D 2	2名	
46	フラヌイ	D 2	1名	

受入企業へのアンケート調査

職種別 今後の実習生の受入調査結果
(園芸科学科分)

職 種	受入をする	受入をしない	受入は未定
食品製造業 1社	1		
観光農園 1社	1		
動物関係 1社	1		
サービス業 1社	1		
金物・スポーツ店 2社	2		
菓子製造販売 3社	1		2
ホテル業 4社	4		
デパート・スーパー5社	5		
養護介護事業 1社	1		
市役所関係 2カ所	2		
合 計(21社)	19	0	2

(電気システム科分)

職 種	受入をする	受入をしない	受入は未定
電気工事業 4社	3		1
電気販売店 2社	2		
電力事業 1社	1		
パソコン・情報事業 1社			1
電気・電子製品製造業 1社	1		
自動車整備業 4社	3		1
金物・ガソリン給油・スポーツ店2社	1		1
菓子製造業 1社			1
板金業 1社			1
ホテル業 1社			
デパート・スーパー業 1社			
運送業 1社	1		
養護・介護事業 1社	1		
市役所関係 1カ所			1
合 計(22社)	13	0	7

生徒アンケート調査 (園芸科学・電気システム科生徒)

I. インターンシップの意義や目的について

(1)その仕事の全体を知ることができましたか	良くできた 16	だいたいできた 52	できなかった 2
(2)その職場の人がどんな環境で働いているか知ることができましたか	良くできた 34	だいたいできた 36	できなかった 3
(3)職場での作業内容がどのようなものであるか理解できましたか	良くできた 26	だいたいできた 44	理解できなかった 0
(4)将来の進路選択の参考になりましたか?	参考になった 35	だいたい参考になった 26	参考にならなかった 9
(5)働くことの厳しさを理解することができましたか	良くできた 48	だいたいできた 17	理解できなかった 5
(6)その仕事に対して興味や関心が高まりましたか	高まった 21	だいたい高まった 38	高まらなかった 11
(7)働くことの意義を理解することができましたか	良くできた 29	だいたいできた 37	理解できなかった 4
(8)働く人として必要な条件みたいなものを見つけることができましたか	良くできた 14	だいたいできた 47	できなかった 9
(9)その仕事に必要な技術や技能を理解することができましたか	良くできた 18	だいたいできた 44	理解できなかった 8

II. 参加する態度について

(1)意欲的に明るく仕事ができましたか?	良くできた 22	だいたいできた 42	できなかった 6
(2)自分の目的を持ってインターンシップに参加しましたか?	良くできた 33	だいたいできた 31	できなかった 6
(3)疑問点があれば積極的に質問しましたか?	良くできた 21	だいたいできた 39	できなかった 10
(4)仕事の迷惑にならないよう私語などを慎みましたか?	良くできた 33	だいたいできた 37	できなかった 0
(5)与えられた仕事をきちんとできましたか?	良くできた 39	だいたいできた 30	できなかった 1
(6)実習に関係ない物品、機械には手を触れませんでしたか?	良くできた 56	だいたいできた 12	きなかった 1
(7)遅刻、早退などしませんでしたか?	遅刻・早退しなかった 70	遅刻・早退した 0	欠席した 0
(8)身だしなみ(服装・頭髪)はきちんとできましたか?	良くできた 52	だいたいできた 18	きなかった 0

Ⅲ. 礼儀などのマナーについて

(1)職場の人にきちんと挨拶(朝、帰りなど)できましたか?	良くできた	だいたいできた	できなかった
	66	23	1
(2)来客の人にきちんと挨拶できましたか?	良くできた	だいたいできた	できなかった
	27	40	2
(3)目上の人に敬語を使いましたか?	良くできた	だいたいできた	できなかった
	44	26	0
(4)職場でマナー(私語をしない。指示に従う。)?	良くできた	だいたいできた	できなかった
	44	26	0

Ⅳ 体験した職場についての感想

	期 待	少し期待	あまり期待して
(1)インターンシップ実施前に、インターンシップに対してどういう印象を持ちましたか?	していた	していた	いなかった
	4	6	13
(2)インターンシップ実施後の感想を聞かせてください	実際やって良かった	やや良かった	やや失望した
	15	15	1
(3)今回のインターンシップの仕事を将来の仕事にしたいと思いましたが?	したい	ややしたい	したくない
	10	24	15
(4)自分が希望したような職場であったか	希望通り	やや希望通り	違っていた
	19	24	22
(5)今回の職場は楽だったと思われましたか	楽だった	やや楽だった	ややきつい
	9	16	24
(6)今回のインターンシップの期間3日間はどう感じましたか?	長く感じた	ちょうど良かった	短く感じた
	10	29	31
(7)今回のインターンシップ3日間は疲れましたか	疲れた	少し疲れた	疲れなかった
	28	23	5

生徒に対する

インターンシップ アンケート調査

インターンシップが本校として初めて6月12日～14日まで実施されました。来年度以降も実施をする方向です。その参考にいたしますので、下記のアンケート調査にお答えください。

※該当する項目を一つ選んで回答欄に記入してください

I インターンシップの意義や目的について

(1) その仕事の全体を知ることができましたか?

①よく知ることができた ②だいたい知ることができた ③よくわからなかった

(2) その職場の人がどんな環境で働いているか知ることができましたか?

①よく知ることができた ②だいたい知ることができた ③よくわからなかった

(3) 職場での作業内容がどのようなものであるかを理解できましたか?

①よく理解できた ②だいたい理解できた ③よく理解できなかった

(4) 将来の進路選択の参考になりましたか?

①参考になった ②だいたい参考になった ③参考にならなかった

(5) 働くことのきびしさを理解することができましたか?

①よく理解できた ②だいたい理解できた ③よく理解できなかった

(6) その仕事に対して興味や関心が高まりましたか?

①よく高まった ②だいたい高まった ③高まらなかった

(7) 働くことの意義を理解することができましたか?

①よく理解できた ②だいたい理解できた ③よく理解できなかった

(8) 働く人として必要な条件みたいなものを見つけることができましたか?

①見つけることができた ②だいたい見つけることができた ③よくわからなかった

(9) その仕事に必要な技術や技能を理解することができましたか?

①よく理解できた ②だいたい理解できた ③よく理解できなかった

(10) またこの次インターンシップがあるとすると、どんなものを希望しますか?

II 参加する態度について

(1) 意欲的に明るく仕事ことができましたか?

①よくできた ②だいたいできた ③できなかった

(2) 自分の目的を持ってインターンシップに参加しましたか?

①よくできた ②だいたいできた ③できなかった

(3) 疑問点があれば積極的に質問しましたか?

①よくできた ②だいたいできた ③できなかった

(4) 仕事の迷惑にならないよう私語などを慎みましたか?

①よくできた ②だいたいできた ③できなかった

(5) 与えられた仕事をきちんとできましたか?

①よくできた ②だいたいできた ③できなかった

(6) 実習に関係ない物品、機械には手を触れませんでしたか?

①よくできた ②だいたいできた ③できなかった

(7) 遅刻、早退などしませんでしたか?

①しなかった ②遅刻をした ③早退した ④欠席した

(8) 身だしなみ(服装・頭髮)はきちんとできましたか?

①よくできた ②だいたいできた ③できなかった

Ⅲ 礼儀などのマナーについて

- (1) 職場の人にきちんと挨拶(朝、帰りなど)できましたか?
①よくできた ②だいたいできた ③できなかった (裏に続きます)
- (2) 来客の人にきちんと挨拶できましたか?
①よくできた ②だいたいできた ③できなかった
- (3) 目上の人に敬語を使いましたか?
①よくできた ②だいたいできた ③できなかった
- (4) 職場でマナー(私語をしない、指示に従う)?
①よくできた ②だいたいできた ③できなかった

富良野商工会議所
会頭 日下博克様

北海道富良野緑峰高等学校長
大野 勲

生徒のインターンシップ(職場体験学習)について(お願い)

Ⅳ 体験した職場についての感想

- (1) インターンシップ実施前に、インターンシップに対してどういう印象を持ちましたか?
①大変期待していた ②少し期待していた ③あまり期待していなかった
④全然期待していなかった ⑤面倒くさくてやりたくなかった ⑥不安でやりたくなかった
- (2) インターンシップ実施後の感想を聞かせてください。
①実際にやってよかった ②ややよかった ③やや失望した
④失望したこれならやる必要がなかった ⑤わからない
- (3) 今回のインターンシップの仕事を将来の仕事にしたいと思いませんか?
①したい ②ややしたい ③したくない ④わからない
- (4) 自分が希望したような職場であったか?
①希望したとおり ②やや希望したとおり ③違っていた ④わからない
- (5) 今回のインターンシップの仕事を将来の仕事にしたいと思いませんか?
①したい ②ややしたい ③したくない ④わからない
- (6) 今回の職場は楽だと思いませんか?
①楽だった ②やや楽だった ③ややきつい ④きつかった ⑤わからない
- (7) 今回のインターンシップの期間3日間はどう感じましたか?
①長く感じた ②ちょうど良かった ③短く感じた
- (8) 今回のインターンシップ3日間疲れましたか?
①疲れた ②少し疲れた ③疲れなかった ④わからない

日頃から、本校などの職業教育にかかわる教育活動には深いご理解と暖かいご支援を賜り、心から厚くお礼を申し上げます。

さて、このたびの文部省における学習指導要領の改訂により、職業教育を主とする専門高校(学科)においては「生徒が産業の現場などにおいて就業体験を行い、もって職業や産業の職場などを知り、将来の自分の生き方や進路を考えさせる」ことを目的として、在学中のインターンシップ(職場体験学習)をすべての生徒に行う制度として位置付けられました。

また、この制度の趣旨にはこれからの新しい学校像あるいは教育像ともいうべき理念も込められており、学校が地域や企業とのパートナーシップ(連携と協力)を確立して、地域の人材育成を図るとともに、生徒にも学習と職業との理解を進め学校で学ぶ意味を深めてもらうとともに、地域や企業を正しく理解させ進んで地域振興などに協力する態度を育てるとの観点も含まれております。

つきましては、下記の日程で貴商工会議所傘下の各企業のご理解のもと、学校と協力連携(パートナーシップ)して地域の子供たちを育てるとの観点から、平成14年度のインターンシップ生徒の引き受けについて、特段のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

記

1. 実施時期

- ①流通経済科 平成14年6月5日(水)～6月7日(金) 3日間
②園芸科、電気システム科
平成14年6月12日(水)～6月14日(金) 3日間

2. 受け入れ希望人数

- ①流通経済科 2年生 38名
②園芸科 3年生 38名 電気システム科 3年生 32名 合計 70名

3. インターンシップの就業条件など詳細については担当者で打ち合わせの上決定します。

(株)
社長 様

北海道富良野緑峰高等学校長
大 野 勲

インターンシップ 体験場所希望調査用紙

インターンシップを実施しますがあなたはどんな職種を希望しますか。別紙富良野市内の企業・商店業種別一覧を参照して下表に記入してください。

生徒のインターンシップ（職場体験学習）について（お願い）

日頃から、本校などの職業教育にかかわる教育活動には深いご理解と暖かいご支援を賜り、心から厚くお礼を申し上げます。

さて、このたびの文部省における学習指導要領の改訂により、職業教育を主とする専門高校（学科）においては「生徒が産業の現場などにおいて就業体験を行い、もって職業や産業の職場などを知り、将来の自分の生き方や進路を考えさせる」ことを目的として、在学中のインターンシップ（職場体験学習）をすべての生徒に行う制度として位置付けられました。

また、この制度の趣旨にはこれからの新しい学校像あるいは教育像ともいうべき理念も込められており、学校が地域や企業とのパートナーシップ（連携と協力）を確立して、地域の人材育成を図るとともに、生徒にも学習と職業との理解を進め学校で学ぶ意味を深めてもらうとともに、地域や企業を正しく理解させ進んで地域振興などに協力する態度を育てるとの観点も含まれております。

つきましては、下記の日程で貴社のご理解のもと、学校と協力連携（パートナーシップ）して地域の子供たちを育てるとの観点から、平成14年度のインターンシップ生徒の引き受けについて、特段のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

記

1 日 時 平成14年6月12日（水）～14日（金）3日間

2 実習生 本校 電気システム科3年生
氏 名 ○○○○ ○○○○ 以上2名

3 巡回者 本校 電気システム科教員

4 担当者 田附 豊、木下 一久
連絡先 富良野市西町1-1 富良野緑峰高等学校電気システム科
電話・Fax 22-2594

5 その他

・就業条件などは貴社制定の社則に準じます。

・就業中の負傷傷害等は日本体育・学校健康センターおよび3日間の対人対物損害賠償 保険により対応いたします。

・詳細については、事前打ち合わせにより決めさせていただきます。

科・学年	科 _____ 年 _____	
氏 名	生年月日 S _____ 年 _____ 月 _____ 日生	
希望順序	部会名・部名・職種等を記入してください。	農業関係など一覧にないものはここに記入してください
第1希望		
第2希望		
第3希望		

富良野市内の企業・商店業種別一覧

商工会議所加盟会員

◎商業部会

- 衣 村 品 部 衣料品販売・洋服・洋裁・綿・布団販売
- 食料品第1部 酒類・食料品販売・タバコ販売
- 食料品第2部 鮮魚・海産物販売・前菜業
- 食料品第3部 茶・海苔販売・食肉販売・パン・菓子製造販売業
- 家庭用品第1部 家具・建具販売・電気器具販売・金物・セトモノ販売・マシン販売
- 家庭用品第2部 靴・履物販売・時計・眼鏡・化粧品販売・小間物販売・書籍販売・スポーツ用品販売
- 諸種販売部 雑穀・飼料販売・建材販売・神仏具販売・生花・種苗販売・古物
容器商・新聞販売・燃料販売・写真材料販売（DPE、写真館含む）

◎工業部会

- 木工工部 造材・製材・家具建具製造・木工細工・表具製造・印刷機工品・
印判・畳製造
- 鉄工機械部 鉄工業・板金業・鍋業・農機具販売・自動車修理販売・自転車・
オートバイ修理販売・タイヤ修理販売
- 加工業部 洗濯業・製麺製粉業・豆腐・納豆製造業・精米業・農水産加工業

◎建設部会

- 建築部 建築請負業・電気工事請負業・看板塗装・管工事業
- 土木部 土木事業・砂利採取業・石材加工・セメント製品製造業

◎観光部

- 飲食店部 飲食店
- サー ビス部 旅館業・浴場・ゲーム場・スキャリフト業
- 運輸通信部 運送業・バス・タクシー業・通信業

◎諸業部会

- 諸業部 理容・美容業・不動産業・税理士・学習塾
- 金融保険部 銀行・金融業・保険業

インターンシップ自己紹介カード

富良野緑峰高校		科	年	番
氏名				男 女
生年 月日	昭和 年 月 日生（ 才）			血液型
保護者氏名				
現住所	〒			
電話			出身中学	

趣味・特技	クラブ活動	
クラス役員	資格取得	
卒業後の進路	得意科目	不得意科目

簡単な自己紹介とインターンシップに対する抱負

インターンシップ事前確認表

訪問月日 月 日 () 時～ 時 訪問者名

事業所名			
所在地			
電話番号	FAX		
担当者	所属部署	役職名	氏名
実習生	名	学校担当教員	
インターンシップにあたっての確認内容			
1	実習期日 平成14年6月12日(水)～14日(金)の3日間 ※期間中休日がある場合(6月 日())		
2	1日目の出社時間 () 2日目からの出社時間		
3	交通機関 ()		
4	1日の勤務時間 時 分～ 時 分		
5	出勤場所 ・(初日の出勤場所) () ・社員専用の出入り口ありますか(ある:) ・2日以降の出勤場所 () ・どなたを訪ねていけばよいですか ()		
6	服装について ・制服でよいですか?(可 不可) () ・作業時の服装は?(上: 下:) ・作業時の履き物 ()		
7	持ち物(名札、手引き、筆記用具、タオル) ()		
8	昼食(持参する 社員食堂)その他()		
9	写真撮影の可否(可 不可)		
10	事前にしておかなければならないこと		
11	緊急連絡先(実習期間中病気などの場合の連絡先)		
その他			

電気システム科 3学年保護者各位

平成14年6月3日

北海道富良野緑峰高等学校
校長 大野 勲

インターンシップ(就業体験)実施のご案内と同意書の提出・傷害保険の加入について

新緑の候、皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本校の教育のために種々ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本校では今年度富良野商工会議所や傘下の企業体の協力により、インターンシップ(就業体験)を下記のとおり実施することになりました。

本校としては初めての取り組みでもあり、下記の目的を達成することはもちろんのこと、とりわけこの期間中ご子息の安全を確保すべく、各企業には作業の安全に留意していただきながら、当初の目的を遂行できるよう事前教育など、万全を期するつもりです。

つきましては、インターンシップ(就業体験)参加の同意書の提出をお願い申し上げます。
また、実施期間中の負傷・傷害については、日本体育・学校健康センターから下記のような保障がなされますが、より万全を期するため就業体験3日間の「傷害保険」および「賠償責任保険」(生徒が企業側に損害を与えたときの補償)に加入することにいたしましたので、ご了承下さるようお願い申し上げます。(掛け金は職業安定所で全額補助していただくことになりました)

ご家庭でも保護者の皆様のご指導のもと、インターンシップが有意義に無事終了いたしますようご協力をお願い申し上げます。

記

1 インターンシップとは?

インターンシップとは、産業の現場などで「生徒が在学中に自分の学習内容や進路などに関連した就業体験をすることです。正規の学校教育活動のひとつです。すべての高校生にとって産業や職業の現場などを知ることは、将来の生き方や進路を考える上でも有意義なことです。

2 インターンシップの目的

- (1) 実務的な知識や技術を学ぶ。
- (2) 学校での学習がどのように職業と結びついているか、なぜ学ぶのか理解を進める。
- (3) 自己理解を深め、職業の実像をつかみながら、確かな職業観を身につけると共に自己の職業選択能力を育てる。
- (4) 現場で働いている多くの職業人と挨拶や会話することで、コミュニケーション能力の向上を図り、基本的なマナーや言葉づかいをおぼえる。
- (5) 地域の産業やそこで働く人々をすることで、地域の理解を深めていく。

3 日 時 平成14年6月12日(水)～14日(金) 3日間

4 実習時間 原則1日8時間とするが就業体験先企業と調整の上決定する

5 就業地域及び受け入れ先企業

(1) 就業地域は生徒が自宅から通える範囲とし、富良野商工会議所などの協力で富良野市内、上富良野町になります。

6 インターンシップの実施科目・・・課題研究 および LHR

7 保障について

「インターンシップ傷害保険」「インターンシップ賠償責任保険」の掛け金は職業安定所で全額補助していただくことになりました

(1) 生徒自身に対する傷害保険について

- ①「日本体育・学校健康センター」(生徒全員現在加入しています)による災害給付
 - －負傷……………総医療費5000円以上のとき支給対象
 - －負傷により傷害が残ったとき…障害の程度により3370万円から73万円
 - －死亡見舞金……………2500万円

- ②「インターンシップ傷害保険」 掛け金500円
 - 負傷通院……………1日 1000円の補償
 - 負傷により入院……………1日 2000円の補償
 - 死亡・後遺障害……………250万円

(2) 生徒が実習先の企業などに損害を与えたときの保険

- ①「インターンシップ賠償責任保険」 掛け金250円
 - 対人1名、1事故……………1億円限度
 - 対物賠償……………250万円限度

8 同意書、誓約書 6月5日(水)までに提出してください。
 その他不明な点があれば教頭または電気システム科長・学級担任までご連絡下さい。

受入先企業

(有)デンキのさこ
富良野市北の峰町29-25
(株)松井電気
富良野市若葉町9-5
北光電子(株)
空知郡上富良野町1973-32
マツヤデンキ
富良野市緑町1-17
ベスト電器
富良野市新富町1-81
(有)インターネット富良野
富良野市幸町2-18
(有)若藤自動車修理工場
富良野市栄町5-6
三共自具(株)整備
富良野市学田3区
(有)北部自動車整備工場
富良野市幸町8-30
双葉車輛工業(株)
富良野市弥生町4-22
(有)上杉板金店
富良野市住吉町5-6

(株)鳥居斉藤商店
富良野市日の出町6-2
西せんべい
富良野市住吉町3-20
富良野合同通運(株)
富良野市新日町13-6
エーコープふらの(株)
富良野市駒町2-10
(有)三野スポーツ(国通泊い)
富良野市若松町16-20
(株)ニュー富良野ホテル
富良野市北の峰14-38
特別養護老人ホーム 北の峰 ハイツ
富良野市中畑地2067-3
北海道電力㈱富良野営業所
富良野市栄町20-1
㈱一戸電機
富良野市住吉町5-16(有)
富良野電気
富良野市栄町15-1
富良野市建設水道部下水道課
富良野市弥生町1-1

平成14年度

インターンシップ

(就 業 体 験)

の手引き

インターンシップ期間

平成14年6月12日(水)～平成14年6月14日(金)

インターンシップ先(事業所名)

インターンシップ先(住所・TEL・代表者名)

共同実習生

インターンシップ先 担当者

インターンシップ 指導教諭

北海道富良野緑峰高等学校

電気システム科 3年 番 氏名

インターンシップ先との確認事項

出勤時刻と場所 出勤時刻 _____	就業時間 始業時間 _____
場 所 _____	昼 食 _____
担 当 者 _____	終業時間 _____

食事について

服装について

靴（上履き）について

持参すべきもの

事前におこななければならないこと

通勤方法及び所要時間

※自宅から体験先までの略図（通勤経路）

インターンシップの目標、日程の概略

1 インターンシップの目標

- (1) 勤労や職業観の理解を深め、進路意識の醸成に努めること。
- (2) 企業や勤労の現場において実際の知識や技術に触れ、今後の学習に役立てること。
- (3) 多くの社会人と接することで、新たなコミュニケーションを図る場とすること。
- (4) 地域企業との相互理解を図り、地域社会に貢献できる人材となれるよう努力すること。

2 実施学年および単位数

- (1) 対象学年 3 学年
- (2) 科 目 課題研究 1 単位およびLHR

(3) 実施日程

項 目	実施 期日	実 施 内 容	時間	備考
初ステップ 希望調査 就業体験先の 決定		インターンシップの説明 希望調査 → 体験先の決定	1 (課研)	
事前準備		一般的な作法・礼法などの学習と 実践練習 保護者承諾書・誓約書の提出 保険契約	4 (課研) (LHR)	
直前準備		履歴書（自己紹介）作成 体験先事前訪問	4 (課研)	
インターン シップ		インターンシップ3日間 (1日8時間)	24 (課研)	
まとめと反省		反省会 礼状作成・発送 感想文のまとめ	3 (課研)	

(4) その他

インターンシップの評価は、科目「課題研究」の評価にはいりません。

インターンシップにあたっての注意事項

- 1 インターンシップへの取り組みについて
このインターンシップは、多くの方のご協力ご理解のもとで実施されます。みなさんの今回の体験は、みなさん自身の進路と将来に大きく影響します。富良野緑峰高校生としての自信と誇りを持ち、意欲的で規律ある行動をとるようにしましょう。
- 2 インターンシップの心得について
 - ① 高校生らしい服装・頭髪でのぞみ、清潔に心がける。
(体験先によっては、服装の指定や事前に身体検査等を行うところもあります)
 - ② 礼儀正しく行動する。(特に挨拶と言葉遣いに注意)
 - ③ 積極的に仕事に取り組む。
 - ④ 会社やお客様に迷惑のかからないよう注意する。
 - ⑤ わからないことは体験先の人に聞いて、間違いがあつたら素直に謝る。
 - ⑥ インターンシップ日誌に、もれなく記入し毎日の反省をして翌日以降につなげる。(課題研究の評価の一部になります。)
 - ⑦ 体験先までの往復までの際、交通安全に心がける。
 - ⑧ 通勤時間を十分に把握し、遅刻・欠席はしない。
(やむを得ず欠席や遅刻をしなければならない場合は、速やかに学校及び体験先に連絡を入れる。)
 - ⑨ 体験先ごとにきまりや約束事があります。決して自分の判断だけで行動しない。
 - ⑩ 報酬や土産等の接待は一切受けない。(これはアルバイトではありません。)
 - ⑪ インターンシップの前に、十分に体験先の業務内容などについて理解を深めておくこと。



インターンシップの実践目標

- (1) 自分の意志を相手にはっきりと言葉で伝えることができる。
- (2) 若者らしい明るさをもって行動し、元気な声をだせる。
- (3) いつも姿勢を正しくし、笑顔で人と接することができる。
- (4) 積極的に体験先の職員とコミュニケーションを持ち、意欲を持って仕事ができる。
- (5) 3日間の体験が、自分にプラスになる項目を一つ以上見つけ、自己の進路実現に役立てる。

インターンシップにあたって (直前の心得)

これから、インターンシップの本番です。もう一度、注意事項、実践目標を読みなおし、さらに以下の項目について確認してからインターンシップに臨みましょう。

- 服装・頭髪については万全であるか。
- 挨拶の仕方や礼儀作法に関して、自信を持っているか。
- 仕事の内容を理解しているか。
- 自分自身の目標を確認したか。
- 就業時間について確認しているか。

(以下、体験先により、各自で記入し確認すること。)

- _____
- _____
- _____

インターンシップの目標 (個人目標)

(以下に、個人達成目標を記入しなさい。必ず文章表現すること。)

指導教諭確認印



実 習 日 誌

1日目 平成14年 月 日 () 天候

本日の目標

実践内容	時刻	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
	一日を通して学んだこと および 反省	内容										

自己評価欄	良い	普通	悪い		
・身だしなみは問題なかったか(服装頭髪等)	5	4	3	2	1
・意欲的に明るく仕事できたか	5	4	3	2	1
・与えられた仕事をきちんと行えたか	5	4	3	2	1
・言葉遣いを正しく、節度のある行動をとれたか	5	4	3	2	1
・十分なコミュニケーションがもてたか	5	4	3	2	1
・迷惑をかけなかったか	5	4	3	2	1
・本日の目標を達成できたか	5	4	3	2	1
担当者より					
					印

実 習 日 誌

2日目 平成14年 月 日 () 天候

本日の目標

実践内容	時刻	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
	一日を通して学んだこと および 反省	内容										

自己評価欄	良い	普通	悪い		
・身だしなみは問題なかったか(服装頭髪等)	5	4	3	2	1
・意欲的に明るく仕事できたか	5	4	3	2	1
・与えられた仕事をきちんと行えたか	5	4	3	2	1
・言葉遣いを正しく、節度のある行動をとれたか	5	4	3	2	1
・十分なコミュニケーションがもてたか	5	4	3	2	1
・迷惑をかけなかったか	5	4	3	2	1
・本日の目標を達成できたか	5	4	3	2	1
担当者より					
					印

同意書

平成14年6月 日

北海道富良野緑峰高等学校長 様

貴校教育課程の趣旨に則り、インターンシップとして以下の事業所での就業体験学習について同意します。

インターンシップ先 _____
インターンシップ期間 平成14年6月 日～6月 日

電気システム科 3年

生徒署名 _____

保護者署名 _____ 印

誓約書

平成14年6月 日

北海道富良野緑峰高等学校長 様

この度のインターンシップにおいては、インターンシップ先での指示に従い、富良野緑峰高校生として責任ある行動をし、立派な社会人をめざして努力することをここに誓います。

電気システム科 3年

生徒署名 _____

インターンシップ

(就業体験)

指導評価簿

(体験先担当者用)

※ 生徒には見せないでください。

※ 生徒一人につき一部作成願います。

インターンシップ期間

平成14年6月12日(水)～平成14年6月14日(金)

インターンシップ先 _____

インターンシップ先担当者 _____

インターンシップ指導教諭 _____

富良野市西町1-1 TEL (0167) 23-3071 FAX 22-2594

北海道富良野緑峰高等学校

体験生徒氏名 _____

電気システム科 3年 番 氏名 _____

インターンシップ評価方法と留意事項

- (1) インターンシップの評価については、5段階で該当評価に○をつけてください。尚、評価の内容については、以下の表を参考にお願いします。

評価	内容
5	非常にすぐれている。
4	すぐれている。
3	おおむねよい。(普通)
2	劣っている。
1	非常に劣っている。

- (2) 総合評価の欄には、全体的な生徒の様子や問題点・改善点についてお願いします。
- (3) この指導評価簿は、生徒には見せないようにお願いします。後日、指導担当教諭が受け取りに参りますので、よろしくをお願いします。
- (4) この指導評価簿に記入いただくと同時に、生徒が持参するインターンシップの手引き・実習日誌についても、毎日一言ずつ記入してあげてください。(生徒は自己評価をしますので、それについてのコメントでも結構です。)

※ 評価していただきました内容については、本校電気システム科教育課程のインターンシップ該当科目「課題研究」の評価の参考とさせていただきます。
あくまでも参考資料として、今後の生徒指導の参考ともしていきたいと考えておりますので、厳しい評価をしていただきたいと思います。
ご多忙の折、誠に恐縮ですが、宜しくお願いいたします。

インターンシップ指導評価簿

受入事業所名 _____

実習生徒氏名 _____

項目		評価				
基本	・勤務時間を遵守できたか	5	4	3	2	1
	・身だしなみは問題なかったか(服装頭髪等)	5	4	3	2	1
	・きまりや約束事を守れたか	5	4	3	2	1
	・挨拶はきちんとできていたか	5	4	3	2	1
体験実習	・積極的に仕事をしたか(積極性)	5	4	3	2	1
	・周囲の状況に応じ柔軟に対応したか(協調性)	5	4	3	2	1
	・創意・工夫は見られたか(創造性)	5	4	3	2	1
態度	・常に明るい雰囲気を持っていたか(明朗さ)	5	4	3	2	1
	・指導に素直に従っていたか(素直さ)	5	4	3	2	1
その他	・反省をしっかりと行っていたか	5	4	3	2	1
	・コミュニケーションを積極的にとっていたか	5	4	3	2	1

総合評価 (本校生徒の実習に対する問題点・改善点についてご意見を頂きたいと思えます。)

※ 今後の実習生受け入れについて○印でお答え下さい。

次年度も受け入れを (する ・ しない ・ 未定)